

卒業式、頭髪、服装等について

3年生諸君の卒業式は、3月1日（日）です。三年間の学業を無事に終え、卒業生の皆さん一人ひとりが、それぞれ新たな人生の1ページを開いていく、その門出をお祝いする目出度い日であります。その目出度い日に当たり、1,2年生の在校生諸君は、どのような態度、身なりで式典に臨むべきかを「当たり前のこと」として考えてみてください。

私が毎朝の立ち番指導や、校舎内での生徒諸君の様子を見ておりますと服装、頭髪が乱れてしまっている人が、少数ですがおります。

ここで、もう一度、君達が入学当初に、まだ中学3年生であった時の3月、入学準備登校において、保護者の方とも一緒に説明された内容の一部を確認してみます。（当日配布された「工芸室の窓から」抜粋。）



◎身だしなみ

頭髪指導では、地毛の状態を最初に確認させていただきます。4/1(火)の販売日に最初の確認をいたします。地毛を染色・脱色した場合には、美容院等で黒く染め直すこととなります。地毛が茶色い場合は指導を考慮されますが、そこに手を加えてしまった場合には3年間黒く染めてもらうこととなりますので、絶対に手を加えないでください。

服装では、腰パン・シャツ出しはその都度指導されます。生活全般、学習面等でのルーズさが服装にも反映されること、つまり、両者の間には相関関係があることが明白と思われれます。型（スタイル）から整えていくことで、確りした心構えや、生活の姿勢に好影響をもたらせます。

また、スカートを短く切ってしまった場合には、そのスカートを学校で卒業まで預かり、買い直してもらうこととなりますので注意してください。

この様に、予め説明してあっても、守らない生徒がおります。

在校生の皆さんに考えて欲しいのは、3年生の諸君が、頭髪が茶髪、または、加工したが為に赤っぽく傷んだ髪の毛、胸のボタンをだらしなく開け、ネクタイやリボンも確りと整えず、ズリ下げたような締め方の無礼な後輩達に、誠に大切な卒業式に、出席してもらいたいと思うかどうか、ということです。言う迄も無いでしょう。

さらに、卒業生諸君の保護者の方、来賓の方々も多数お見えになります。失礼があってはなりません。

いろいろと世話になったり、優しくしてくれたり、厳しくしてくれたり、ともに励まし合い、そして、皆さんの目指すべき門出を、気持ちよく礼儀正しく見送ろうではありませんか。（なお、卒業式当日の女子生徒は、スカート着用で出席するように統一します。近頃は春の気配濃厚となり、暖かく感じる日が多くなりましたが、防寒の準備をして出席してください。中間着も認めますが、その下に着るセーター等がはみ出さないようにしましょう。）

